

令和6年度第5回石狩市社会福祉審議会会議録

■日 時 令和7年2月18日（火） 10時00分～10時30分

■場 所 石狩市役所 5階 第1委員会室

■出席者【審議会委員】

鈴木会長・白戸委員・澤田委員・菊池委員・松原委員・石岡委員

【事務局】

富木福祉部長・佐々木福祉総務課長・高井障がい福祉課長・滝高齢者支援課長・
宮地域包括ケア課長・久保田社会福祉協議会地域福祉課長・宮原福祉総務課主査・
部田広聴・市民生活課主査

■欠席者 1人

■傍聴者 0人

■会議次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 審 議

(1) 第5次石狩市地域福祉計画の策定について

4 答 申

5 そ の 他

6 閉 会

■会議内容

1 開会

○事務局（佐々木課長）

本日は、大変お忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまから「令和6年度第5回石狩市社会福祉審議会」を開催いたします。

本日は、若狭委員から欠席のご連絡をいただいております。また、松原委員からは交通事情の関係で遅れるとのご連絡をいただいておりますが、石狩市社会福祉審議会条例第6条の規定により、委員の過半数の出席がございますので、本審議会が成立しておりますことを、ご報告いたします。

2 会長あいさつ

○事務局（佐々木課長）

続きまして、会議次第2、会長あいさつでございます。鈴木会長、よろしくお願いします。

○鈴木会長

おはようございます。本日は、地域福祉計画の最終審議と答申になります。これまで議論していただいたことを踏まえて、まとめさせていただくことになります。

それにしても雪ですが、帯広では一日で120センチの降雪があり、全国で観測史上最大という話でした。たまたま私は帯広に9年ほど住んでいて、そのときに90センチということがありました。それでも半端じゃなかったのですが、それが120センチということで、除雪もほとんど麻痺していたようです。やはり温暖化も含め、少しずつ自然が変わってきたのかなという感じがいたします。ただ、石狩はそんなに積雪はないようですね。

それでは、今日はこのあと、よろしくご審議お願いいたします。

○事務局（佐々木課長）

鈴木会長、どうもありがとうございました。

開催にあたり、本日の資料を確認させていただきます。資料は、「会議次第」のほか「素案から原案への主な修正箇所（新旧対照表）」、そのほか「第5次石狩市地域福祉計画（原案）」となっております。資料はお手元にありますでしょうか。不足している資料がありましたら、事務局まで申し出願います。

それでは、この後の進行につきましては鈴木会長にお願いしたいと存じます。鈴木会長よろしく申し上げます。

3 審議

○鈴木会長

それでは、審議に入りたいと思いますが、諮問案件の審議でございますので、会議録署名委員の指名をさせていただきます。白戸委員と石岡委員のお二人にお願いしたいと存じます。よろしく申し上げます。なお、本日の会議で委員の皆さまからの意見が出尽くすようでありましたら、第5次石狩市地域福祉計画の審議を終了し、答申を行いたいと考えております。

それでは、審議に入ります。「第5次石狩市地域福祉計画の策定について」を議題といたします。はじめに、事務局から提出されております資料について、説明をお願いいたします。

○事務局（宮原主査）

私からパブリックコメントの結果と、関連して資料のご説明をさせていただきます。

はじめに、パブリックコメントにつきましては、第3回社会福祉審議会でご審議いただいた計画「素案」に、ご意見などを踏まえ修正を加えたものを計画「原案」として、令和7年1月

10日から令和7年2月10日までの期間で実施しました。結果として、ご意見等の提出はなかったことをご報告させていただきます。なお、修正箇所につきましては、資料「素案から原案への主な修正箇所（新旧対照表）」にお示しした内容で、それを反映した計画原案は、別冊で配付したものとなっております。

少し補足しますと、新旧対照表のNo. 1は、「はじめに」の4行目の記載についてです。計画の中で「孤独・孤立」という言葉は用いていますが「孤独死」は用いていないこと、また、「ひきこもり」に並列助詞の「や」で続く言葉としては、「孤独・孤立」の方が適当と判断したことによります。次に、No. 3からNo. 7は、SNSなど略語の説明の追記となります。次に、No. 9、No. 11は、素案で「育成就労外国人」としたところを原案では「外国人技能実習生（育成就労外国人）」に修正しております。これは、原案の49ページに注釈を加えましたが、令和6年6月21日の法改正にともない、「技能実習制度」が抜本的に見直され「育成就労制度」が創設されることとなりました。ただし、施行は令和6年6月21日から起算して3年以内となっており、現時点では未施行のため修正したものです。次に、新旧対照表No. 12とNo. 13については、厚田区の地域の活性化に関する内容ですが、「図られています」とすると、「すでに図られた」・完了の意味にとられるとのご指摘でした。この点は、現在進行形で取り組みされていることを示すよう「図っています」に修正しました。

資料のご説明は以上ですが、今後につきましては、本審議会からの答申のほか、計画の最終決定に向けた手続きを進めたいと考えております。以上でございます。

○鈴木会長

ただいま説明がありましたが、これより質疑に入りたいと思います。資料のほか、計画全般についての質疑も合わせて行いたいと思います。質疑はございませんでしょうか。何でも結構です。

○鈴木会長

白戸先生、何かございませんか。

○白戸委員

厚田区の「地区の現状」に関する記述の直しは、これで承知しました。

○鈴木会長

ありがとうございます。ほかに何かございませんでしょうか。

皆さまから一言いただきたいと思いますが、石岡委員お願いできますか。

○石岡委員

前回、修正をお願いした箇所がきちんと修正されているので、問題ないと思います。

石狩市は、除雪体制もスムーズになっているので、帯広よりは快適に暮らせていいというのが私の感想です。

○鈴木会長

ありがとうございました。菊池委員いかがですか。

○菊池委員

新旧対照表の10番で、「聴覚」と「視覚」を入れ替えた理由は何かあるのでしょうか。

○事務局（宮原主査）

所管課からいただいた修正ですが、関連計画等との整合のためと聞いております。

○鈴木会長

ありがとうございました。澤田委員いかがですか。

○澤田委員

この計画自体は、社会福祉協議会も市と両輪で進めていかなければなりません、コロナ禍で事業ができなかった部分もしっかりやっていかなければならないということ。もう一つ、パブコメで一つもご意見がないというのがやはり少し寂しく、福祉はそうに捉えられているのかなという感想です。社協も福祉計画や福祉事業を通じて、計画の重要性を広めていけたらと思っています。

○鈴木会長

ありがとうございました。社協も、この地域福祉計画の主役になっていくと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○白戸委員

ボランティアスクールに関する補足は、内容がよく分かるようになり、よかったと思います。また、私としては、23ページのICTに注釈がつけられたので、よく理解できるようになりました。ありがとうございました。

○鈴木会長

ありがとうございました。

松原先生、いま委員の皆さまに一通りご意見を伺っておりました。

○松原委員

元々のりんくるプランもしっかりと立てていただいていて、前回、用語や文言について皆さ

まからもご意見がありました、見る限りその部分も修正していただいているので、よいのではないのでしょうか。

○鈴木会長

ありがとうございました。パブコメについては、よい方に解釈させていただいて、これまでの計画が、ある程度市民に浸透していた結果と捉えることもできると思います。

全体を通してご質問ご意見等ございませんでしょうか。

○鈴木会長

ほかにご質問等がなければ、「第5次石狩市地域福祉計画の策定について」の説明と質疑を終了し、答申の手続きに進みたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

4 答申

○鈴木会長

それでは、答申の内容についてであります、これまでの審議を踏まえ、事前に私と事務局において、答申書の原案を作っております。この原案をもとに委員の皆さまからご意見をいただき、必要な修正を加えて答申書とする方向で取り進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

○鈴木会長

ありがとうございます。それでは、答申書(案)を配付しますので、内容をご確認願います。

○鈴木会長

確認の方はよろしいですか。この答申書(案)の内容について、ご意見等はございますでしょうか。

○鈴木会長

特にご意見等がないようですので、答申書につきましては、この案のとおりとしたい思います。答申書の取り扱いについてですが、本日、ご確認をいただきましたので、後日、加藤市長へ答申書を渡したいと思いますが、答申書の提出については、私に一任していただければよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○鈴木会長

ありがとうございます。それでは、後日私から市長へ答申書をお渡ししたいと思います。

以上で諮問を受けました「第5次石狩市地域福祉計画の策定について」の審議はここで終了となります。委員の皆さま、3回にわたってのご審議ありがとうございました。

5 その他

○鈴木会長

そのほか、事務局から何かございますか。

○富木部長

最後にお礼を兼ねまして、私から一言申し上げます。

委員の皆さまには、これまで熱心にご審議いただきましたことに厚くお礼申し上げます。おかげを持ちまして、今日の社会情勢や地域事情を反映した「りんくるプラン」を策定できたものと考えております。

新年度からこの計画が始まります。これまでの議論にもありましたが、この計画を進めていく上で、まずは、計画の内容を含め様々な情報を広く発信し、福祉の理解を進めていくことや、関係部署・関係機関によるこれまで以上の連携が肝要であると考えております。

計画の基本理念である「地域力を活かし、共に支え合うまち いしかり」、これを目指し、地域の皆さまのお力をお借りしながら、社会福祉協議会と協働で地域福祉の推進に努めてまいりますので、委員の皆さまにおかれましては、引き続き、本市福祉行政へご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、私からのご挨拶とさせていただきます。これまでのご審議、誠にありがとうございました。

5 閉会

○鈴木会長

ありがとうございました。それでは、これにて令和6年度第5回石狩市社会福祉審議会を閉会いたします。皆さま、ありがとうございました。

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和 7 年 3 月 10 日

会 長 鈴 木 幸 雄

署名委員 白 戸 一 秀

署名委員 石 岡 文 章